



大島事業所トピック No. 333

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行

平成 22 年 4 月 5 日

〒100-0212 東京都大島町波浮港 18

Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

平成 22 年 大島地区テングサ作柄調査結果

藻長は平年並み、着生量は平年をやや下回る

大島のテングサ漁場 14 地点で、口開け前の生育状況を調査しました。各調査地点では又マ付き（珪藻類の付着）の藻体が多く認められました。藻長は平年並みでしたが、着生量が平年をやや下回ったことから、今年の大島地区のテングサ作柄は平年並み～平年をやや下回ると考えられます。

大島の 4 地区、14 地点で調査を実施

調査は、3 月中に、大島の元町地区 3 地点（前浜、シゲラ崎、泉浜）、岡田地区 4 地点（野田浜、灯台下、小口、苗根）、泉津地区 4 地点（秋の浜、二本松、ゼンマ下、ミミズ浜）、波浮地区 3 地点（カキハラ、波浮口東側、差木地漁港）の計 14 地点（図 1）で、SCUBA 潜水により 1 m²の枠取り調査（写真 1）を行いました。

藻長は平年並み、繁茂量は平年をやや下回る

着生量は、平均 486g/m²で昨年および過去 10 年間の平均を下回りました。藻長は、多くの地点で 15 cm を超え、概ね良好でした。

藻質は、又マ付が認められ、良好ではありませんでした。また、その他の雑藻の混生率は、全体では

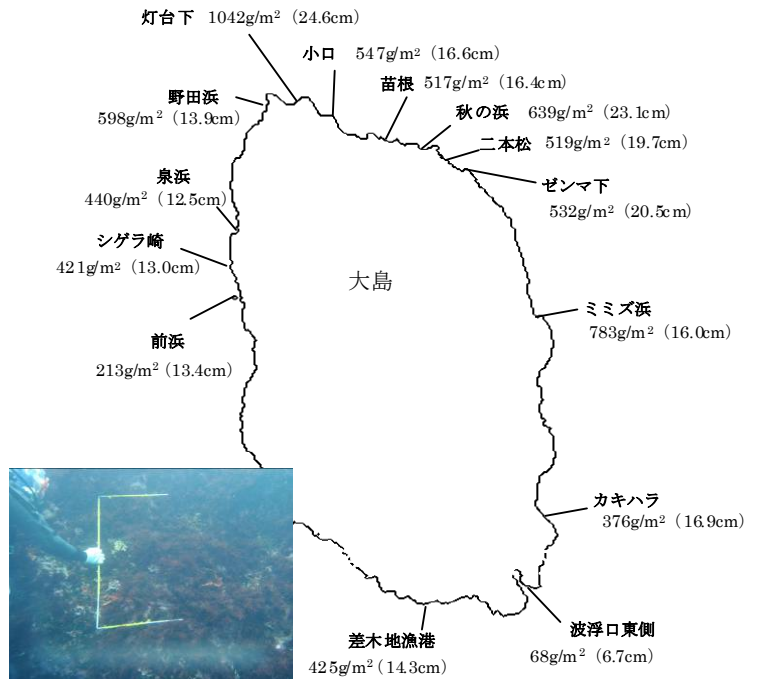


写真 1 枠取り調査風景

図 1 調査地点とテングサ着生量 () 内は平均藻長

過去 10 年間をやや上回る結果となりました。

本年の大島地区のテングサは、又マ付が多く、藻長は平年並みであるものの、全体平均の着生量が平年を下回ったことから、作柄は平年並み～平年をやや下回るものと考えられます。

表 1 枠取り調査結果（地区別平均）の過去 10 年の変化

地区	項目	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	平均	H22
元町	着生量 (g/m ²)	302	285	590	331	663	540	818	548	394	389	486	358
	藻長 (cm)	10.6	9.5	12.2	8.6	10.5	11.1	13.1	15.9	10.3	13.7	11.5	13.0
	雑藻混生率 (%)	58.8	71.7	47.1	69.0	30.0	35.8	8.9	3.1	34.5	5.6	36.5	29.8
岡田	着生量 (g/m ²)	733	1530	1346	693	678	882	640	517	690	949.4	866	676
	藻長 (cm)	13.4	20.1	18.1	14.0	17.9	15.2	18.9	15.3	21.0	18.8	17.3	17.9
	雑藻混生率 (%)	21.6	13.8	9.1	15.9	22.8	16.7	14.3	29.3	23.1	12.3	17.9	11.9
泉津	着生量 (g/m ²)	736	929	1461	665	553	675	817	579	638	877	793	619
	藻長 (cm)	15.7	16.8	18.7	17.9	20.3	15.9	19.1	20.6	18.2	20.1	18.3	19.8
	雑藻混生率 (%)	24.5	34.2	6.2	17.6	34.1	27.0	30.6	13.9	20.1	18.9	22.7	21.3
波浮	着生量 (g/m ²)						603	762	838	752.1	739	290	
	藻長 (cm)						16.8	21.0	21.0	18.6	19.4	12.6	
	雑藻混生率 (%)						0.0	0.0	0.3	3.6	1.0	45.2	
大島	着生量 (g/m ²)	648	972	1241	563	631	699	758	565	640	742	746	486
	藻長 (cm)	13.8	16.0	17.2	13.5	16.2	14.1	17.0	17.8	17.6	17.8	16.1	15.8
	雑藻混生率 (%)	30.2	37.0	15.6	34.2	29.0	26.5	17.9	11.7	19.5	10.1	23.2	27.0

* 波浮地区は平成18年より調査を開始したため過去4年間の経年変化